

学友会所属学生の活躍

本学Webサイトに掲載された記事を中心に紹介します。<2022年11月~2023年6月>学生の学年は、記事掲載時の情報です。

ハンドボール部

関東学生ハンドボール連盟2022年秋季リーグ戦(男子1部)で優勝 3連覇達成
関東学生ハンドボール連盟2022年秋季リーグ戦の結果、ハンドボール部は優勝、3連覇を達成しました。

高松宮記念杯男子第65回全日本学生選手権で優勝 2連覇達成

2022年11月3日~7日に実施された高松宮記念杯男子第65回全日本学生選手権(全日本インカレ)にハンドボール部が出場、決勝戦では延長になる闘いを制し、優勝しました。同大会は、昨年に続く通算5回目の優勝、2連覇を達成しました。

準硬式野球部

東都大学準硬式野球秋季リーグ戦優勝 6季連続の快挙

2022年10月5日に日本大学との試合に勝利し、令和4年度東都大学準硬式野球秋季リーグ戦の優勝が決定しました。同リーグでは、これで6季連続68回目の優勝となりました。

軟式野球部

令和4年度東都学生軟式野球連盟秋季リーグ戦で優勝 3連覇

令和4年度東都学生軟式野球秋季リーグ戦で優勝しました。秋季リーグは昨年に次ぐ3連覇の快挙となりました。

バレーボール部

2022年度秋季関東大学バレーボールリーグ戦で6年ぶりの優勝

バレーボール部は、秋季関東大学バレーボールリーグ戦で6年ぶりに優勝しました。

射撃部

2022年度全日本学生スポーツ射撃選手権大会 10mエアライフル男子立射60発競技で吉田陸矢さん(経1)が優勝

2022年10月13日~16日に行われた2022年度全日本学生スポーツ射撃選手権大会で、射撃部の吉田陸矢さん(経1)が10mエアライフル男子立射60発競技で優勝しました。

洋弓部

第34回全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会で鈴木駿介さん(経2)が優勝

2022年10月14日~16日に実施された第34回全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会で、洋弓部の鈴木駿介さん(経2)がRC男子部門で優勝しました。鈴木さんは同種目初優勝となります。

自動車部

2022年度全日本学生運転競技選手権大会にて男子個人及び団体が優勝

2022年11月20日に2022年度全日本学生自動車運転選手権大会(三重・鈴鹿サーキット)において、男子個人全員が優勝を含む表彰台に上る成績を収め、男子団体でも優勝を果たしました。

eスポーツ「GT College League 2022」で優勝 3連覇達成

2022年12月18日に開催された「GT College League 2022」(ポリフォニー・デジタル 東京スタジオ)に自動車部が出場し優勝。昨年、一昨年に引き続き3連覇を達成しました。

重量挙げ

北村広輝さん(商4)第68回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 55kg級で優勝

第68回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(サイデン化学アリーナ・さいたま市)に重量挙げ部が出場し、2022年11月29日に行われた55kg級で北村広輝さん(商4)が優勝しました。

拳法部

第67回全日本学生拳法選手権大会男子の部で優勝

2022年12月11日に行われた第67回全日本学生拳法選手権大会に拳法部が出場し、男子の部で優勝を果たしました。同大会での優勝は12年ぶりの栄冠となり、年始には河合久学友会会長(学長)への報告も行われました。

スキー部

薄井理央さん(商3)が第96回全日本学生スキー選手権大会男子スーパー大回転で優勝
2023年2月3日に第96回全日本学生スキー選手権大会男子スーパー大回転競技が猪苗代スキー場で行われ、スキー部の薄井理央さん(商3)が優勝しました。

第96回全日本学生スキー選手権大会男子1部で29年ぶりの総合優勝

2023年2月23日~2月26日に行われた第96回全日本学生スキー選手権大会で、スキー部は男子1部で29年ぶりの総合優勝を果たしました。また、女子2部でも1位を獲得し、次回1部昇格を決めました。畔上祥吾さん(法3)も男子ノルディックコンパインドで優勝しました。

ボクシング部

ウエノリュウイチさん(商3)が2022全日本ボクシング選手権大会で優勝

2022年11月22日~27日に行われた2022全日本ボクシング選手権大会(墨田区総合体育館)に、ボクシング部のウエノリュウイチさん(商3)が男子クルーザー級(86kg)に出場し、優勝しました。

大相撲 豪ノ山関が五月場所十両優勝の報告を兼ねて表敬訪問しました

卒業生の活躍
Pickup

豪ノ山関(ごうのやま・西川登輝・令和3年法学部卒・武隈部屋)が、2023年6月12日(月)に、師匠の武隈親方(元大関・豪栄道関)と共に、東京両国国技館で開催された大相撲五月場所での十両優勝の報告を兼ねて本学理事長と学長へ表敬訪問しました。優勝を決めた千秋楽の決定戦では、落合関(改め伯松関)が優勢である中、立合から一気に押し出し、快勝で十両優勝を果たしました。

次の場所(2023年7月名古屋)では、新入幕として土俵に上がることとなり、本学出身力士の幕内昇進は、一山本関(現幕内)以来2年ぶりの快挙となります。今後も豪ノ山関の活躍にご期待ください。



(左から) 山口相撲部監督、河合学長、武隈親方、豪ノ山関、大村理事長、丹治相撲部長(文学部教授)

写真提供:「中大スポーツ」新聞部および各部

